

## 耐震補強用プレミックスモルタル

## アフタープロテクション

## ■『アフタープロテクション®』吹付施工による耐震補強

『アフタープロテクション®』は簡易なモルタル吹付システムによって、一般的なコンクリート打設と同様に構造物をつくる耐震補強工事が可能な材料です。完全プレミックスタイプで、現場で水を加えて混ぜるだけで必要量のモルタルを製造し、施工を開始することができます。

## ●アフタープロテクションの特長●

## 1. 省力化・工期短縮

従来のコンクリート打設と比較して1/2~2/3程度の工期での工事が可能です

- ★ 吹付け前面の型枠が不要
- ★ グラウト材注入が不要
- ★ 一度に300mm程度の厚さまで吹付け可能

## 2. 施工場所の制約少

生コン打設では施工困難な場所で、かつ建物を使用しながらの工事が可能です

- ★ コンパクトな吹付け装置は4トン車で搬送可能、エレベータで搬入可能
- ★ コンクリートポンプ車の停留が不要
- ★ 生コンの搬送時間規制などの制約なし、遠隔地でも施工可能
- ★ モルタルの圧送可能距離は60m(垂直部20m含む)

## 3. 良好な施工環境・品質

湿式吹付の特性上良好な環境で、高品質の施工を提供します

- ★ ブリージングがほとんど発生せず、水処理作業が不要
- ★ 湿式吹付けにより、材料のリバウンド・粉塵の飛散が少ない
- ★ ビニロン繊維添加により高いひび割れ抑制性能を発揮
- ★ 施工をAP工法協会が定める技術審査の合格者が行うことにより、高品質の補強工事を提供

## ●吹付施工●



## ●完成状況●



## ■『AP工法』(アフタープロテクション吹付による耐震壁構築工法)

『アフタープロテクション®』吹付により壁を増設、増打ち、開口閉塞する耐震補強工法『AP工法』は、従来のコンクリート(RC)と同様の耐震診断基準・改修設計指針に基づいた設計方法にて、(財)日本建築防災協会の技術評価を受けております。

## ●『AP工法』設計に用いる特性値●

- (1)せん断強度設計に用いる圧縮強度  $F_c=30\text{N/mm}^2$
- (2)同 圧縮弾性率  $2.23 \times 10^4(\text{N/mm}^2)$
- (3)密度  $2.2\text{g/cm}^3$

## ●採用例●

- ① 駅ビル・駅舎、テナントビルなど繁華街のRC建造物
- ② 工場 <複雑な配管のある場所など>
- ③ 病院など公共施設  
<常時稼働、振動・騒音対策が必要な場所>

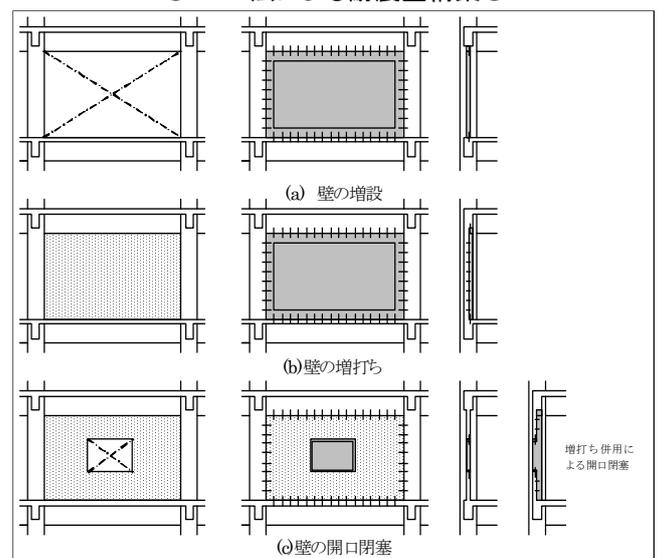
(テナントビル)



(工場)



## ●AP工法による耐震壁構築●



※「AP工法」の応用展開として「袖壁増設による耐震補強工法」なども順次開発を進めておりますので、お問い合わせください

株式会社クラレ 原料資材第二部  
〒100-8115 千代田区大手町1-1-3  
TEL 03-6701-1363 FAX 03-6701-1376